

## 小・中学校での現状の課題・問題点

### 【少子化・クラス替え・人間関係】

#### 児童生徒の減少

共通の課題として、全区で児童生徒の減少が進んでいる。その減少の速度は速くなっていると感じる。

#### クラス数の減少

将来的に全ての小学校で1クラス。複式学級になるのも見えてきている。

#### クラス替えできない

特に中学生には厳しい面があるのでは。

#### 人間関係の固定化

共通の課題として、単学級になると人間関係が固定化されることが心配。

### 【学習】特に中学校

#### 免許外指導

クラスの減少で教員の配置が減ると、免許を持っていない教科を指導することになる。

#### 教育の低下

免許外教員では、専門性のある中学の教科指導は難しい。

#### 教員の指導力向上

経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置が難しく、教員同士の研鑽が図れない。

### 【行事】共通として

#### 集団活動に活気がない

運動会や音楽活動などの集団活動も大切な学習機会。

### 【部活動】中学校

#### 部活動の選択肢減

生徒数が少なくなり、部活動の数が減り選択肢が少なく、やりたい部活動を選べないのは残念。

生徒指導にとっても大事な部分。

#### すでに合同チーム

チームを組めない競技もあり、他校に受け入れてもらえなければ試合に出られない。

#### 部活動が成り立たない

生徒数の減少により部活動が成り立たない。

#### 部活動の指導者不足

部活動担当のなり手がいない。地域へ移行か。

### 【通学】特に小学校で

#### 低学年の登下校

小学校では一緒に登下校する児童が少ない。

### 【PTA】共通として

#### P T A 役員問題

会員数が減り、活動の負担が大きくなる。

### 【地域・まちづくり】共通として

#### 地域の不安

地域に学校がなくなることで、地域住民としてはさみしい思いがある。小学校は地域の宝。可能な限り残したい。

#### 定住対策への影響

学校は子育て世代の定住要件として重要なファクター。まちづくり対策も必要。

## 疑問・その他

### 【資料3】

#### 【クラス編制について】

加65. 1クラス40名の編制を35名に変更することは可能か。

加67. 一クラスの子どもの人数を減らすことは可能か？

#### 【回答】資料

基本的には国県の指針に準拠することとなります。仮に町独自で1クラスの人数を減じてクラス数を増やしても、県からの教員の配置がありません。国県の基準が変わらないと、町の予算で教員の追加を行わなければならないため、財政的に難しい面があります。

#### 【人間関係について】

加56. 町内小学校であったいじめ問題が、話し合われているがペールに包まれすぎて不安を感じる。

中36. こころと体アンケートを中学生が正直に答えられるか。

加54. いじめが起きにくい心の教育が本当に実現できるのか。

#### 【回答】第1回資料2より

HPや報道機関等でできる限り公開しているが、同時に個人情報の保護の観点から非公開としている部分があります。

学年があがるごとに「アンケート」に書かない傾向があります。友達や先生に相談できるよう、これからも取り組んでいきます。

いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、多可町いじめ防止対策改善基本計画に基づいて、家庭と連携して取り組みます。第三者機関による評価・検証も行います。この検証委員会は公開としています。

#### 【学習について】

加68. 科目別の先生となる話があるが、児童数による？

加81. 「教える立場」としての適正化と「学ぶ立場」としての適正化とはちがうのでは。

加57. 特別支援教育が始まって10年以上。発達障がいへの理解、学校からの発信。

中11. 「学習」「学力」先生により教科の理解度にどうしても差が出ることも……。学年全体の教科の学力をみて、対策はされていることあるのかな……。

#### 【回答】

文科省で小学校の教科担任制が検討されていますが、具体的な内容は決まっていません。現在は、県の制度を活用し、音楽や理科などで教科担任制をとっています。この制度は、児童数等で配置される人数が決定されます。

教える立場＝先生、学ぶ立場＝児童生徒の適正化は、共通部分も多いが、まずは学ぶ立場における適正規模と教育環境をご検討いただきたい。

発達に課題のあるお子さんが適切な支援を受けられるよう、お子さんや保護者を支援する「サポートファイル」に取り組んでいます。

教員の配置数が少なくなると、教科に教員一人となり、現場で学ぶ人材育成が難しくなっているのが現状です。そのため、学校全体の校内研修や町内の中学校で教科ごとの研修を計画し、教員の指導力向上に取り組んでいます。

#### 【未就学児保護者へのアンケートについて】

中24. 小さな子ども（未就学）のいる家庭や将来町に残って生活していく若い世代の意見を聞く機会（アンケート等）が必要だと思いますが、予定されていますか。

#### 【回答】

今年度、未就学の子どものいる保護者とのふれあいトークを実施し意見や要望を聞かせていただきました。また、アンケートの実施については、未就学の子どものいる保護者だけでなく、その範囲や内容、実施時期などについてご協議いただきたいと考えております。

#### 【先生の負担について】

中12. 先生方の負担増はいかほどかと心配。

加62. 教育委員会から先生への要求（提出物等）が多いと聞く。子どもたちへの対応に影響？

八107. 教員の定数については理解できるが。

#### 【回答】

教員数が少なくなると、一人の教員が担う校務が多く、負担も大きくなるのが課題です。教員の負担を軽くするため、町の予算でスクールアシスタントやスクールサポートスタッフなどを配置しています。

国・県・町や各種団体からの調査依頼が多く、特に教頭の負担が大きいと感じます。教員がゆとりをもって子どもと向き合う時間を確保するため、教職員の負担軽減の取組を進めています。

町予算で各学校にスクールアシスタントやスクールサポートスタッフなどの補助員として追加配置しているのが現状です。

#### 【通学】

加69. 下校のバスがとて有り難かった。これからも続けられないのか？

#### 【回答】

コロナウイルス感染症拡大防止策のため、休業による真夏の登下校緊急措置であることをご理解いただきたい。

#### 【まちづくり】

加59. 移住されるのは年配の方ばかり。もっと若者が住みたくなる補助が必要。町の対応者の改善を求めます。

#### 【回答】

町外からの0才～19才の転入者は、過去五年で19人。令和元年度は8名です。（町定住推進課調べ）